

聞きたい

第3回定例会の一般質問は、9月5日～8日の4日間で行われ、20名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第3回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、11月下旬から、市ホームページ（PDF版は11月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（市役所1階）でご覧いただけます。



本会議の進行を務める篠宮正明議長

公民事業連携について

島崎 孝
(自民クラブ)



質問 本市とコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社との包括連携協定を締結する見込みであるとの発表があった。目的および協定締結後に想定する展開について伺う。

答弁 協定で、連携し取り組む事項は、SDGsの推進、地域振興および地域活性化、健全な子どもの育成および教育文化、安全・安心なまちづくり、健康・スポーツに関することなど。協定締結後、上の原グラウンドや中央図書館敷地内など市の施設等5カ所に清涼飲料水の自動販売機を設置し、その収益により連携事業を実施する予定。

質問 本市に設置される自動販売機に本市のオリジナルデザインのラッピングができるか伺う。

答弁 設置する自動販売機をテーマに沿ってラッピングする事例もある。協定締結後、収益による事業を検討し、事業者と協議する中で検討する。

地域経済の活性化・商工業支援策

野島 武夫
(自民クラブ)



質問 地域経済の活性化にとって商店街はなくてはならない存在である。引き続き支援を。

答弁 市内の地域経済の活性化は非常に重要である。9月からはキャッシュレス決済推進事業におけるポイント還元事業もスタートしている。市内の魅力あるお店を知っていただく貴重な機会になると考えている。さまざまな取り組みについては、引き続き検討を進めたい。

質問 都立六仙公園は市の中央に位置し、北多摩地区における緑の拠点として計画された。整備の状況は。

答弁 計画面積15haのうち約5haが開園しており、用地取得率は76%、9.2haの買収が完了している。令和4年度事業として、2カ所の整備を実施し、園路や植栽等に加え、常設20台の駐車場や臨時駐車場としても活用できる多目的広場の整備を予定している。

DXの推進でさらなる業務効率化を

関根 光浩
(公明党)



質問 AI・RPA利用推進について、①導入状況は、②会議録作成の効果は、**答弁** ①財務会計処理の自動化は支出命令書の自動作成など22シナリオ、業務システム処理の自動化は8課、AI-OCRによる紙面情報の電子化は4課で利用している。②トリアルを実行しているシステムにて、事業者のアドバイスの下、改善を図った結果、精度が改善し、効果としては、検証結果から50%程度の作業時間の抑制効果が見込まれる。

質問 子どもの貧困や虐待などについて、データ連携による早期発見や対応につなげる試みが一部の自治体で進められている。このような取り組みに対する市の見解は。

市長 とても重要な取り組みだと思う。国や先行自治体の状況を見ていきたい。子どもたち一人一人を守る市役所、これは引き続き努力していきたい。

誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを

高橋 和義
(公明党)



質問 日中サービス支援型グループホームの開設における市の関わりと、新たな事業所参入の動きについて伺う。

答弁 障害者福祉施設に関し令和3年度実績においては、計画上の見込み値と大きな隔たりはなく、引き続きサービス提供体制の確保に向けた方策の検討を進めていく。新たな事業所の参入については、事業所開設の御相談をいただいているところである。

質問 令和4年度の野火止水用水沿いの植生管理の状況について伺う。

答弁 令和4年8月末現在、2カ所の契約等を終るとともに、2カ所の契約締結が完了しており、予定額を含め13万3000円の支出を予定している。職員の巡回等により今後の繁茂状況を確認し、必要に応じ剪定等の対応を実施していく。

デマンド型交通をもっと便利に

阿部 利恵子
(公明党)



質問 デマンド型交通の営業時間は、営業所9時発となっているが、営業所から遠い東部地域では9時半近くでないと予約できない。どこに居住しているも9時から予約が取れるよう検討を。

答弁 業務内容に疑義が生じないようにしておく必要があるとともに、運行時間の変更は経費に関する事項の変更となるため、大変難しい面がある。運行事業者とともに利便性の向上に努めていきたい。

意見 実験運行5年後もデマンド型交通継続を求め、地域公共交通会議の実りある議論を期待する。

質問 地方創生臨時交付金を活用し、すべての市民が買物を楽しみながら事業に参加できるスクラッチカード等を検討してはどうか。

答弁 御意見として受け止めさせていただきます。引き続き、国や東京都の動向を注視しながら庁内で検討を進めたい。

公設公営保育園の存続を

鴨志田 芳美
(日本共産党)



質問 「東久留米市保育サービスの施設整備・運営及び提供体制に関する実施計画」の改訂にあたり、改訂前の計画の「民間化されるまでの間は、認可保育所として適切に管理運営していきまします」という記載をなぜ削除したのか。

答弁 今回改訂した計画において、民間化も含めた民間活力の導入の手法の整理をしたが、新たに民間活力を導入する具体の対象園の記載がないことから、構成上、当該項目の記載はない。

意見 適切に管理運営していくことをしっかりと説明するべき。

質問 子どもの意見表明の場の設置の進捗状況と、意見等の取り扱い。

答弁 中学校の生徒会役員の生徒との懇談会や小学校の総合的な学習の時間に行つた食育等に関する授業の参観などを検討している。意見等の取り扱いは関連する担当部署に情報提供および共有を行い、必要な対応を図っていく。

駅西口富士見テラス部は再建を！

村山 順次郎
(日本共産党)



質問 富士見テラス部は、除却するだけでなく、市民の意見を十分聴取して再建するべきだと思つて見解は。

市長 富士見テラスは多くの市民に親しまれてきたものであることは十分認識しているが、結果として除却という対応を取らざるを得ない状況に至った。駅西口昇降施設における課題のうち、まずは富士見テラス部の安全対策を第一優先に対応し、その後については取り組みを進める中で改めて考えを示していきたい。

質問 温かいおかずの提供についての取り組みの検討状況は。

答弁 スクールランチを基本とした、温かいおかずの提供については、どのような方法であれば導入することができるとか、他の自治体の事例を参考に、衛生面や保温性、調理場および学校での工程等について、調査・研究・検討を重ねているところである。

脱炭素へ連携型の水平リサイクルを

梶井 琢太
(未来政策フォーラム)



質問 清瀬市と飲料水メーカーは、ペットボトルから再度ペットボトルに再生する水平リサイクル事業で協定を締結した。資源を繰り返し利用可能で、新たに石油由来原料からボトルを作るのに比べ、CO₂排出量を60%以上削減できる。CO₂排出量の削減とリサイクルの推進へ、企業と連携した水平リサイクル事業を検討すべきでは。

答弁 現在、清瀬市等に聞き取りを行っている。本市もペットボトルの水平リサイクル事業の実施を検討したい。

質問 ①市の財政的メリットは、②今後、市が包括連携協定を締結する市内に製造工場がある清涼飲料水メーカーとの水平リサイクルを検討しては。

答弁 ①ペットボトルは直接メーカーが購入、市には回収量に応じた代金が支払われ、安定的な収入が期待できる、②当該事業者との包括連携事業として、水平リサイクルの実施を検討したい。

地域の財産を活かしたまちづくりを

問宮 美季
(市民自治フォーラム)



質問 地域包括支援センターの設置数等現行フレームは変えず、ランチ1カ所設置の可能性を連携に提案したことだが、在宅介護支援センターとのすみ分けをどう考えているのか。

答弁 フランチャイズの設置の可能性は中間報告として提案したものであり、役割分担等は今後整理していく。

要望 在宅介護支援センターは地域財産であり、有効活用を検討してほしい。

質問 税金をかけて運営している公立保育園、その運営のトップが市長である。市の財産として公立保育園をどう活かしていくかが重要と考えるが、市長の見解を伺う。

市長と議会で本音の議論！

宮川 豊史
(久留米ハートネット)



富田竜馬新市長が就任してまだ8カ月。すでに多くの課題解決に取り組んでいる。新たな提案もある。市長が変われば市政も変わることを実感。希望の光に向かって一直線、全力で走り続けていただきたい。

時には大きな壁にぶつかるともあろう。しかし困難だからできないと諦めるのではなく、その困難をどうやって乗り越えるのか、みんなで一緒に話しかけて考える行政を目指すべき。

信頼を得るには余計な策略を巡らすより誠意を持って正直に接するのが一番。議会に対しても気遣いや根回しは不要。正々堂々と真正面からぶつかって、ぜひ本音の議論を！

新しい改革項目をどうやって示すのか。財政健全経営計画を策定することが目的化してはならない。時代の変化は早くなってきているので、しっかりと説明しながら反映していきたい。